

JST さくらサイエンス・ハイスクールプログラム 東南アジア高校生ら、日本の研究機関等で国際交流

科学技術振興機構（JST）の国際青少年サイエンス交流事業「さくらサイエンス・ハイスクールプログラム」の修了式が8月4日、JST東京本部で執り行われた。



「さくらサイエンス・ハイスクールプログラム」修了生と永岡大臣（前列中央㊟）ら



各国大使と話し込む修了生（㊟シンガポール、㊟タイ）

今回、JSTはASEAN（東南アジア諸国連合）加盟国であるインドネシア、ラオス、フィリピン、シンガポール、タイから高校生96名、引率教員16名の計112名を招へい。高校生らは7月30日～8月5日の一週間、東京理科大学や物質・材料研究機構で講義を受けたほか、芝浦工業大学柏高校で日本の高校生と交流を図った。

修了式には、来賓として永岡桂子文部科学大臣や各国の駐日大使らも出席。永岡大臣は「日本とASEANは本年、友好協力50周年を迎える。若い方々を中心とした人的交流は両者の関係深化のために大変重要。文科省としても、多くの若者が科学技術を通して交流し、相互理解につなげていくよう支援していきたい」と述べた。高校生らが訪問した東京理科大や物材機構では、同プログラム同窓生が研究員や留學生として在籍している。今回の「さくら卒業生」もこうした両者の架け橋となることが期待される。

デスク日記



インドネシアのさくら修了生